



# 活動紹介

こんなことを  
しています

〒098-1792 雄武町字雄武 700 番地 庁舎別館内  
 電話 0158-84-2023  
 FAX 0158-84-4497  
 開設時間 平日(月～金) 8時30分～17時15分  
 (土・日・祝祭日・年末年始は休み)

こんな入口です

## 乳幼児健康診査

雄武町では、生後3～4か月、9～10か月、1歳6か月、3歳、5歳、そのほかにそれぞれのお子さんが必要な時期に乳幼児健康診査を行っています。

小児科医師・歯科医師・保健師・管理栄養士・歯科衛生士・心理士・言語聴覚士・保育士などの多職種が、保護者と一緒にお子さんの健康や成長を確認する場です。

診査の待ち時間中は、お子さん同士が遊んだり、お母さんたちが情報交換したり、保育士・保健師が子育て相談やイベントの案内などをしています。

最近では、お父さんの参加も増えていきますので、ぜひお父さんたちも気軽にお越しください。



↑乳幼児健康診査の会場内の様子

## 生きにくさを抱える人への 支援者学習会 (令和3.12.10実施)

役場会議室において、一般社団法人 gid.jp「日本性同一性障害と共に生きる人々の会」北海道支部長の日野由美氏、株式会社フラシエパンセ代表取締役の雨宮英介氏、元保健所保健師の志子田結花氏を招き、支援者向けの学習会を実施しました。

町内の小・中・高校の養護教諭とぶちさぼの保健師全員が参加し、さまざまな悩みを抱えているお子さんへの相談支援のあり方や、悩みの背景にある生きにくさへの気づきについて学びました。

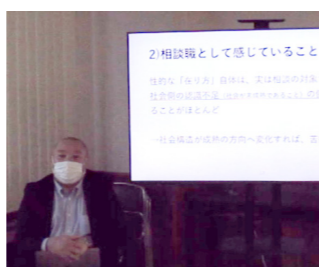
参加者からは「線引きやカテゴリーに当てはめる必要はなく、支援者の価値観や見立てをおしつけずに本人が何に困っているのか、本質を探り支援の方向性を考えることが大切だと思いました」「性の在り方について、多種多様であるということが印象に残りました。性の多様性を無理やり分類することがないような社会にしていきたいです」などの感想があげられました。



↑学習会の様子



↑様々な支援方法について説明する日野氏



↑性の「在り方」の認識について説明する雨宮氏

## お母さんはエステ、お父さんは交流会 (令和3.12.19実施)

この日、お母さん・お父さんそれぞれのイベントを同時開催しました。

お母さんたちは助産師による産後ケア教室に参加し、アロマの香る空間のなか、少人数でゆったりとセルフケアに取り組み、日頃の子育てなどの疲れを癒していました。

お父さんたちは保健師によるプチ学習と交流会に参加し、女性のホルモンバランスの変化について学び、日常の子育てについての悩みごとや工夫などを情報交換しました。

また、保育士・保健師による託児スペースを設けたため、お子さん連れの保護者の皆さんにも安心して参加してもらうことができました。

貴重な日曜日に、たくさんのご参加をいただきありがとうございました。

### 参加者の感想 (抜粋)

#### 〈お母さん〉

- ・少人数でやりやすく、楽しかったです。
- ・顔マッサージの前後で写真を撮って見比べると、違いがあって驚きました。空き時間やお風呂の時間にでもやってみようと思います。
- ・初めての参加でしたが楽しかったです。家でできることを教えてもらえてよかったです。

#### 〈お父さん〉

- ・育児の先輩たちからいろいろな話を聞いて良かったです。
- ・他のお父さんと会話する機会がなかったので良かったです。



↑お母さん向け産後ケアの様子



↑お父さん向けプチ学習と交流会の様子

母子健康包括支援センター「ぶちさぼ」は、安心安全な妊娠・出産・子育てと、健やかな成長発達のサポートを目指して活動しています。  
気になることやご相談などがありましたら、お気軽にご連絡ください。

〒098-1792 雄武町役場別館 保健福祉課保健係内  
母子健康包括支援センター「ぶちさぼ」

☎84-2023

